

院内スタッフに掛かる負担が軽減
 STELLAR の導入により今までの作業時間の短縮を実現



Nazca 使用風景

導入システム	
DICOM 画像管理システム	Nazca
RIS システム	NazcaRIS
診療情報統合システム	STELLAR
ドキュメント作成&管理システム	STELLARReport

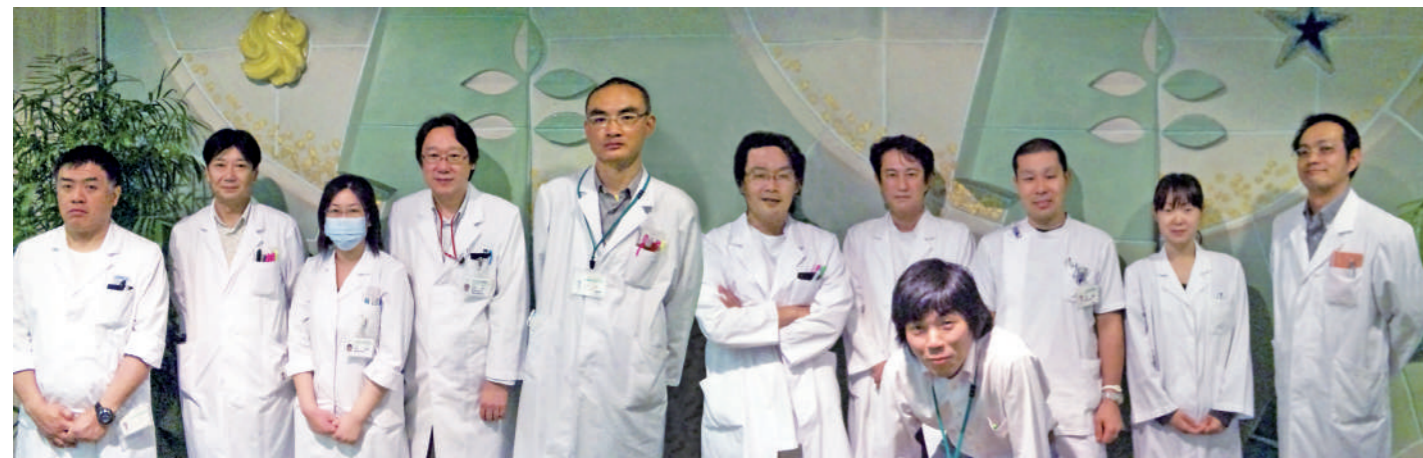
導入経緯

コスト・運用に見合ったシステム提案が決め手

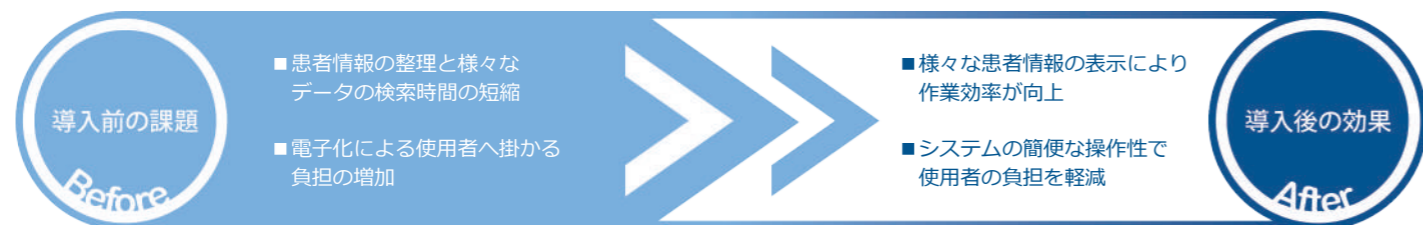
健診システムの入れ替えに伴い画像の電子化を踏まえつつ、部門システム導入のため他メーカーのシステムも検討しましたが、運用面・コスト面両方で満足いくものが見つからず困っていました。そこで紹介してもらったのがアストロステージのシステムです。アストロステージからは当院の運用面に沿ったシステムを提案してもらい、将来への期待も感じられたため導入することに決定しました。

次へのステップアップが期待できるシステム

他のメーカーではパッケージソフトとしての制約も多い上に使い勝手も悪く、当院の運用に沿った機能がありませんでした。しかし、アストロステージにはパッケージからフリーに直してもらえるとということでこちらの要望を受け入れてもらいました。特にレポートシステムに関してはこちらの運用に沿った形でカスタマイズでき、これなら次へのステップアップを期待できると将来を見据えた上で決定しました。



四日市羽津医療センター スタッフの皆さん



四日市羽津医療センター：システム導入時期 / Apr 2010



私たち四日市羽津医療センターは地域医療機能機構の一員として、地域住民の健康増進ならびに高齢者福祉に貢献いたします。

当院は、平成26年4月1日より全国社会保険協会連合会による運営から、独立行政法人地域医療機能推進機構が経営を行うこととなりました。それに伴い、四日市社会保険病院から四日市羽津医療センターに病院名の変更を行いました。聞き慣れない名称かとは思いますが、以前使用していました。

「羽津」を再び用いることで、より一層地域に根ざした医療を展開して行くべく、全職員心を新たにしています。今以上に病診連携を強化し、地域包括医療の構築を目指し、地域のニーズに応じた医療体制を構築すべく努力して行く所存でございます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

所在地：三重県四日市市羽津山町 10-8
 病床数：235床
 診療科：人間ドック・健診施設

今後の方針

大きい事業所に対しては事業個別の医療指導ができるようなものを作っていき、健診医療でフォロー出来るようなものを考えています。それを基に細かな統計処理や各事業所とのコミュニケーションをはかり、次へ繋いでいきたいと思ひます。健診医療へのさらなる発展を目指しています。

今後の期待・要望

エスコートのアプリケーションをもっと展開してもいいのではないかと思います。このエスコート機能は各健診センターにとって必要な機能でもあり受検者・健診側にも多くのメリットをもたらすものと考えています。また、現場の声を吸収し柔軟な対応力と積極性を持ち続けてほしいです。

システム構成図

